

# 05

## 構想の実現に向けて

- 1 重点プロジェクトに取り組むにあたって
- 2 協働まちづくりの体制
- 3 始めよう、市民100プロ

## 2 取組の全体像



# 1 重点プロジェクトに取り組むにあたって

富士見台地域のまちづくりの実現に向けて、まずは、10の重点プロジェクトから市民、地域活動団体、行政、事業者等が協働して、その実現に向けて取り組みます。重点プロジェクトは、いずれも一足飛びに実現するものではありません。しかし、構想を手にとった人が、できることからはじめ、小さな成功体験を積み重ねることで、ビジョンに掲げた将来像の実現に近づくことができます。小さな場所の価値を大切に、それらをさらにつなげて・ひろげながら、一歩ずつ確実に、まちづくりを進めていきます。

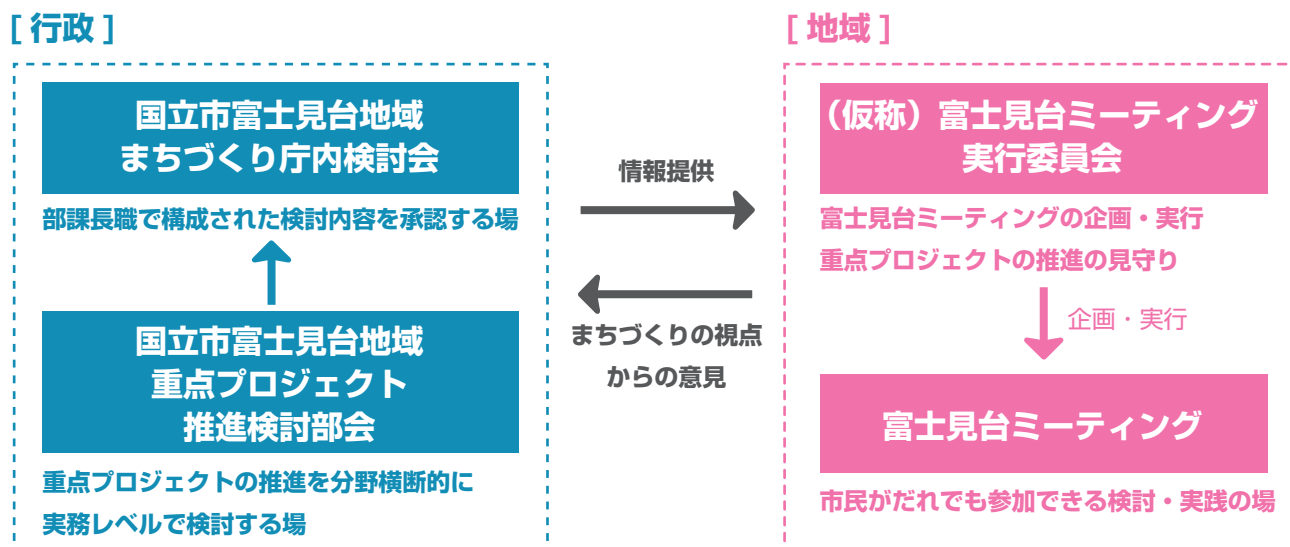
## 2 協働まちづくりの体制

構想に示した「重点プロジェクト」を着実に進めるためには、市民、地域活動団体、行政、事業者等がそれぞれの得意分野を活かし、連携・協働して実践していくことが不可欠であり、定期的に、各プロジェクトの進捗やプロジェクトを進めるうえでの課題を共有する場が必要です。

富士見台地域のまちづくりでは、そのための場として、広く市民に開かれた「富士見台ミーティング」を継続します。それに合わせて、協議会が、富士見台ミーティングを企画・実行する「(仮称)富士見台ミーティング実行委員会」となり、より多くの市民や関係者が、まちづくりに関わることができる仕組みづくりの充実を図ります。

さらに、行政内部では、庁内検討会の下部組織である検討部会を、「国立市富士見台地域重点プロジェクト推進検討部会」とし、重点プロジェクトにも示した、縦割り行政イメージを払しょくするための、分野横断的な連携体制を構築していきます。

各プロジェクトに紐づいた各主体の取組は、「富士見台ミーティング」で共有するほか、「富士見台ニュース」を発行し、国立市内・外に向けてPRしていきます。



## 3 始めよう、市民 100 プロ

### (1) 今日からだれでも始められる市民 100 プロ

「市民まちづくりプロジェクト 100 (通称：市民 100 プロ)」は、だれでも、すぐにできる、まちを楽しむ・まちで楽しむ日常的な小さな取組を市民一人ひとりがはじめて (既に取り組んでいる場合には意識して)、それを 100 個集めてみようという試みです。

近所の人とあいさつをしたり、地元の商店街で買い物したり、お気に入りの場所を見つけてくつろいだり、そんな一人ひとり小さな取組は、まちと人との関係を豊かにし、それが 100 個集まれば、まちづくりの大きな原動力になります。さあ、今日から始めましょう！

### (2) 100 個の取組を集めて、みんなで共有する方法を考えよう

市民一人ひとりの取組を集めて、みんなで共有することで、人のつながりの輪、取組の輪が広がっていきます。

富士見台ミーティングなどを通じて、みんながワクワクしながら、取組を集めて、共有できる方法を、これからみなさんと話し合っていきます。

### (3) 方法を考えるヒント：「(仮称) ちゃれんじ 100 シート」

例えば、リストに書き込んだ取組を定期的に持ち寄ったり、SNS でハッシュタグを付けて発信することで共有するといった方法が考えられます。

今後、方法を考えるヒントとして「(仮称) ちゃれんじ 100 シート」を紹介します。

### (4) 市民 100 プロの取組のヒント：「やってみたい取組アイデア集」

第 4 回富士見台ミーティング (令和元 (2019) 年度開催) では、ワークショップ形式で「自分がやってみたいアイデア」をみんなで出し合いました。

一人でもすぐにできそうなことや仲間と一緒にできそうなことまで、たくさんのアイデアが出されました。

今後、みなさんが、どんな取組がしたいか考えるヒントとして「やってみたい取組アイデア集」を紹介します。

**(仮称) チャレンジ 100 シート**

【番号】	いつ?	どこで?	(だれと) 何をした?
【例】	2021年4月1日	〇〇商店街	初めてのお店に入ってみたら、 お店の人のお話がとても面白かった
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

## やってみたい取組アイデア集

### 方針1 支え合いを育む居場所の充実を図る

- ・今ある居場所や地域活動を調べてみる（巡るツアーしたいな）
- ・「ひらや照らす」に行ってみる
- ・すでにある居場所で運営をお手伝いする体験をしてみたい
- ・公園を積極的に利用している団体の活動を見学したり、参加してみたい
- ・公共施設の一部を居場所にする実験イベントをしてみたい
- ・コミュニティスペースのあるお店にどんな活動をしているか聞いてみたい

### 方針2 気軽に外出したくなる環境を整える

- ・散歩を楽しんで、見つけた魅力を SNS で発信したい
- ・まちの魅力（場所・お店・人・自然）や散歩ルートのおススメマップをつくりたい
- ・ユニバーサルデザインマップをつくりたい
- ・自宅の周りやまちの清掃活動に参加してみたい
- ・自宅の前に外出中の人や座れるイスを置いてみたい
- ・子どもの保護者を募って「横断補助員」を朝・夕でやってみる

### 方針3 多様な人が暮らせる住まいづくりを進める

- ・UR 国立富士見台団地のお祭りに友人を誘って一緒に参加してみたい
- ・団地で行われている国際交流・留学生との交流イベントに参加してみたい
- ・団地の集会所で、医療・介護・認知症など関心のありそうなお話を企画したい
- ・団地に住んでいる人と挨拶したり話す機会が欲しい
- ・団地の暮らしの魅力を伝えたい

#### 方針4 にぎわいの空間をつくる・活用する

- ・地元のお店で買い物をして、その魅力・面白さを自分で実感したい
- ・地域の集まりを地域のお店で開催することで応援したい
- ・友達を誘って、面白いことをやっているお店・施設・イベントに出かけたい
- ・公園の花壇づくりのボランティアに参加してみたい
- ・富士見台地域にある公園を魅力を知る公園巡りツアーを企画してみたい
- ・地域活動を楽しむシニアを探してどんなことをやっているか話を聞いてみたい
- ・国立在住の有名人や面白い人の話を聞く機会をつくりたい
- ・自分が気になる他地区の公共施設へ出かけてみたい

#### 方針5 富士見台地域ならではの環境・景観の魅力を高める

- ・自分が好きな風景の写真や動画で撮影して SNS で発信したい
- ・まちの魅力を俳句にして発信したい
- ・市内の農地やロケ地を巡るツアーをしたい
- ・自宅のまわりに花や緑を植えたい
- ・小動物・昆虫を調べて、富士見台地域の緑の豊かさを子どもたちに伝えたい
- ・援農ボランティアとして農作業の体験をしてみたい

#### 方針6 コミュニティづくりの担い手を育む

- ・自分が参加しているクラブ活動に友達を誘いたい
- ・学校の運動会に参加して協力したい
- ・地域の消防団の分団同士で情報交換する会をやりたい
- ・積極的にあいさつするなど、子どもたちに自分が暮らしを楽しんでいる姿を見せたい
- ・子どもの見守り活動を実践したい
- ・子どもたちと高齢者が交流できるような機会をつくりたい
- ・平日に子育てパパママが気軽に交流できるような機会をつくりたい
- ・地域の情報を発信している広報媒体にはどんな種類があるのかを調べてみたい
- ・地域の面白い人巡り・交流ツアーをやりたい
- ・地域活動団体がお互いの活動を紹介し合う機会をつくりたい
- ・何かできる人と困っている人をつなげるマッチングの仕組みをつくりたい
- ・「市民まちづくりプロジェクト100」を情報発信するニュースレターを作りたい